

講演報告（2016年2月19日（金）17:00～）

旭川医科大学教授の高草木薫先生による講義は、今回で11回目となります。今回のテーマは『小児の学習障害と運動機能』でした。

「学習障害」「広汎性発達障害」「注意欠陥多動性障害」などの発達障害に関して、脳発達・運動制御・神経伝達物質の観点から紐解かれた様々な症状が説明されていきました。発達障害を持つお子さんたちの症状は、成人期に認められる高次脳機能障害や精神症状と似ているところがあり、その症状を解釈していくためには、脳機能を理解していく必要があります。人を理解していく上で、年齢発達のなもの・情緒発達のものの違いはありますが、症状として脳機能から理解を進めていくことで、その人の行動が理解できると思います。今まで高草木先生に講義していただいた10回の内容が、今回のテーマである小児発達障害にも通ずるものであることを痛感いたしました。

